

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

慈光照護のもと、門信徒のみなさまにはますますご清栄のことと慶賀に存じます。

さて、早くも報恩講のシーズンがやって参りました。当寺院でも毎年10月16日(月)と17日(火)に厳修いたします。「報恩講」は宗祖・親鸞聖人のご命日を中心に行われる真宗最大の行事です。私たち真宗の門徒は親鸞聖人を偲び、阿弥陀如来の本願力によってこの私が救われてゆくことに感謝、念仏を称えて聖人の報恩に感謝します。また聖人は「仏恩を知り、仏恩に報いる生き方ができる人間になろう。それが幸せな人生を生きる道である。」と教えてくださっています。

この大切な仏事に、近年参拝者が減少の一途をたどっていることはまことに寂しいことです。このご法縁を大切にしていただいで、みなさまお誘い合わせの上ぜひお参りくださいますようお願い申し上げます。

なお、報恩講と同時開催として、当寺ご門徒であります、坂井市三国町の梶洋品店の梶照子様のおちりめん人形展を本堂におきまして開催いたします。この機会にすばらしい

作品の数々をご堪能ください。

梶照子様の作品です。工夫を凝らしたかわいいものばかりです。



「報恩講ご案内」

日	16日(月)	17日(火)
10時〜		阿彌陀經作法 法話二席
14時〜	大速夜 報恩講作法 法話二席	
19時〜	初夜 初夜礼讃 御伝鈔拝読 法話一席	

ご法話

福井市教応寺住職

本願寺布教使

奥田 順誓師です。

「当寺若院住職課程を受講」

本年四月より京都の本願寺近くの「伝道院」という研修施設にて約90日の住職課程を受講してまいりました当寺若院が無事に研修を終えて戻りました。「本願寺布教使」の任用資格及び「巡讃」資格(本願寺の内陣等にてご門主様と出勤するのに必要)もいただくことができました。その間ご迷惑をおかけしました門信徒のみなさま、本願寺育成研修部、先生方を始めお世話になったすべてのみなさま、本当にありがとうございました。今後はこれまでいただいたみなさまのご恩にお応えできるよう、お念仏のみ教えをお取り次ぎしてまいります。

「誰にも聞けないお仏壇の話」

第1回「お水はお供えしないの?」

ご門徒のお宅にお参りさせていただきますと、時おりコップなどにお水を入れてお備えしてあるお仏壇を目にすることがあります。基本的には真宗では、お花やお仏飯をお供えしますが、お水をお供えすることはありません。それはどうしてでしょうか。その答えは毎月の月参りでお勤めさせていただく「仏説阿彌陀經」の中に書かれています。このお経の前半には、お釈迦様が極楽浄土がどこにあつてどのようなお荘厳がなされてい

るかをお説きになられた様子が非常に細かく描写されています。そこではお浄土には特上の「八功德水」がたっぷりあるのだということをお示しになっておられます。つまりお水は十分にあるのです。ですからわざわざ水道の水をお供えする必要がないんだということですね。

「金子みすゞ」の詩より

山口県で生まれ、26歳の若さで自死せねばならなかった詩人の金子みすゞさんは、幼い頃から親に連れられてお寺参りを欠かさなかったということ。短く辛い人生の中で、つねにいのちを見つめ続ける仏教徒の目線から多くの作品を残しておられます。

今回はその中から、代表作の一つに上げられる、『大漁』という作品をご紹介します。

朝焼小焼だ

大漁だ

大羽鰯の

大漁だ。

濱は祭りの

やうだけど

海のなかでは

何萬の

鰯のとむらひ

するだらう。

（『童話』 大正十三年三月号）

いかがでしたか。みすゞさんのいのちを見つめる視点はとても鋭いですよね。大量に沸く港の人々とは違って、引き上げられたたくさんのいのちと、海の中に残されたであろうこれまたたくさんのいのちを私たちと同じようにかけがえのない大切なものとして見ておられるのです。そして、そのかけがえのないいのちをいただくかなければ生きてゆけない私であるということをしつかりと認識して、その手を「おかげさま」と合わせずにはおれなかったのです。

山口県においでの際にはぜひ、みすゞ通りを訪ねてみてください。

「西光寺寺報原稿募集」

読者のみなさまから、随筆・詩・短歌・俳句などの作品を募集いたします。いただいた原稿はこれからの西光寺寺報に随時掲載してまいります。ぜひこの場をみなさまの発表の場にしていただきたいと思います。作品は直接手渡しのほか、封書・はがき・メールなど、なんでも受けつけます。

「編集後記」

今回から私、当寺若院「釈淳浩」が編集させていただくことになりました。途中で投げ出すことなく、末長く続けていきたいと思っておりますので、みなさまのご協力をよろしく願います。ぜひお読みいただいで、ご意見ご感想をお寄せください。西光寺寺報作成の励みになります。

・メールアドレス soichiro@mitene.or.jp

ぜひ、今まで「自分には関係ない」と思っておられた若い方にも、浄土真宗のみ教えを知っていただきたい、浄土真宗のみ教えは、決して亡くなった人のためではなく、今、この世界に生きている私のためのものであることを知っていただきたいと思えます。どのような疑問でも、小言でもご相談でも結構です。お寺の御院さんにこんなことを聞きたい、聞いてもらいたいということがありましたら、メールでも電話でもなんでもかまいませんからお待ちしています。

合掌

世のなか安穩なれ



観音聖人750回大遠忌
2011年9月22日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月23日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月24日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月25日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月26日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月27日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月28日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月29日 10:00～12:00 西本願寺
2011年9月30日 10:00～12:00 西本願寺
京都 西本願寺 HONGWANJI
http://www.hongwanji.or.jp/